

# 基礎分野

人間と生活・社会の理解

シラバス

科目名	人間関係論 I (コミュニケーション論)	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	1 年前期	担 当 者	深澤 大地
学習のねらい	<p>本科目のねらいは、相互に影響を与えながら人が他者と形成する人間関係を理解し、円滑な人間関係を作り上げる能力を養うことである。本科目を学ぶことにより、日常の人間関係を良好に保つ能力を身につけるとともに、看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤を構築してほしい。</p>								
目的・目標	<p>目的；人間関係構築の基本的技法を理解し、円滑な人間関係を作り上げる能力を養う。          目標；1. 自己理解を深めることができる。          2. コミュニケーションにおける言語的、非言語的な表現の大切さを理解することができる。          3. 的確に情報を得る方法と、実践的な表現能力を身につけることができる。</p>								
授業計画	<p>1 回 (45 分×2) 人間関係を築く意義          2 回 (45 分×2) 自己認知・自己理解          3 回 (45 分×2) 感情表現・自己開示          4 回 (45 分×2) メンタルヘルス・アンガーマネジメント          5 回 (45 分×2) 自己理解と他者理解 信頼関係の構築          6 回 (45 分×2) 自己理解・他者理解のためのグループ・エンカウンター          7 回 (45 分×2) アクノレジメント (存在承認、行動承認)          8 回 (45 分×2) コミュニケーション技法① (非言語的コミュニケーション)          9 回 (45 分×2) コミュニケーション技法② (話の促し方)          10 回 (45 分×2) コミュニケーション技法③ (話の聴き方)          11 回 (45 分×2) 自己主張とアサーティブコミュニケーション①          12 回 (45 分×2) 自己主張とアサーティブコミュニケーション②          13 回 (45 分×2) 説明力のトレーニング          14 回 (45 分×2) チームワークの基礎となるコミュニケーショントレーニング          緊急時のコミュニケーション (報告、指示、依頼、受信・理解・発信)          15 回 (45 分×2) 筆記試験</p>								
評価方法	<p>出席状況 (5%)、振り返りミニテスト (15%)、筆記試験 (80%) を総合的に評価する。</p>								
教科書	<p>必要な資料は、その都度配布する。</p>								
参考文献	<p>系統看護学講座 人間関係論 医学書院          人間関係論入門 ナースのための心理学 金子書房          人を育む人間関係論 医学書院</p>								
履修要件									

シラバス

科目名	人間関係論Ⅱ (カウンセリング)	単 位	1	時 間 数	15	開 講 時 期	2年後期	担 当 者	深澤 大地
学習のねらい	本科目のねらいは、カウンセリングの基礎となる理論とコミュニケーションスキルを学び、実際の場面で適切なコミュニケーションができる基礎を作ることである。看護カウンセリングは、看護の目的をよりスムーズに達成するために営まれるものである。単なるコミュニケーションスキルではなく、言語的・非言語的コミュニケーションを活用し、対象の行動変容をうながす力を養う。								
目的・目標	目的；看護カウンセリングに必要な理論や技法を学び、カウンセリングスキルを身につける。 目標；1. カウンセリングの考え方や理論を理解することができる 2. 様々な視点から人をとらえることができる 3. 看護師としていかにカウンセリングを利用することができるかを考えることができる 4. ロールプレイを通じて実際的なカウンセリングスキルを身につけることができる								
授業計画	1回 (45分×2) カウンセリングの考え方 2回 (45分×2) カウンセリングの理論① 来談者中心療法、ゲシュタルト療法 3回 (45分×2) カウンセリングの理論② 認知行動療法、精神分析、交流分析 4回 (45分×2) 危機介入 自殺念慮対処、惨事対処、トラウマと PTSD 5回 (45分×2) ロールプレイ① 相手の考えや感情をアセスメントする 6回 (45分×2) ロールプレイ② 言い換えで細やかな理解をする 7回 (45分×2) ロールプレイ③ クライエントの意思決定を支える 8回 (45分) 筆記試験								
評価方法	出席状況 (10%) および筆記試験 (90%) で評価する。								
教科書									
参考文献									
履修要件									

シラバス

科目名	生命倫理	単位	1	時間数	30	開講時期	1年前期	担当者	盛永 審一郎
学習のねらい	医療の現場において、対象の人権を擁護し自律性を尊重した看護を提供するために、生命倫理や医療倫理についての理解を深め、自己の倫理観を確立し倫理的判断力と倫理的感性を養うことをねらいとする。								
目的・目標	<p>目的；自己の倫理観を確立し、倫理的な判断ができる力の素地を作る。</p> <p>目標；1. 倫理上の基本原則を理解することができる                  2. 患者の自律や権利を擁護し、人間の尊厳を尊重することができる医療について考えることができる                  3. 看護者の倫理とは何かを考え、表現することができる</p>								
授業計画	1回（45分×2） 患者－医療従事者関係 2回（45分×2） パターナリズムからバイオエシックスへ 3回（45分×2） 原則主義と四原則 4回（45分×2） 与益原則、無加害原則、自律尊重原則 5回（45分×2） インフォームドコンセント、終末期（Ⅰ） 6回（45分×2） 終末期（Ⅱ） 尊厳死、安楽死、緩和医療 7回（45分×2） 終末期（Ⅲ） 事前指示 8回（45分×2） 正義原則、ヨーロッパ型原則 9回（45分×2） 人間の尊厳 10回（45分×2） 生殖補助医療 11回（45分×2） 出生前診断、クローン、人はいつから人になるか、優生学、 12回（45分×2） ヒトゲノム 13回（45分×2） 脳死・臓器移植 14回（45分×2） ケアリング 15回（45分×2） 試験								
評価方法	筆記試験（80％）および平常点；出席状況および授業中の提出レポート（20％）で総合的に判断する								
教科書	盛永審一郎 著「看護学生のための医療倫理」丸善出版 ※ あらかじめテキストで事前に理解しておくこと。								
参考文献	生命倫理学を学ぶ人のために 加藤・加茂 編 世界思想社 盛永審一郎 著「終末期医療を考えるために 検証 オランダの安楽死から」丸善出版								
履修要件									

## シラバス

科目名	討議法	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	2年次前期	担 当 者	宮城 信
学習のねらい	社会で活躍しより良い人生を送っていくために、論理的思考力と表現力（変化を読みとり、理解、把握し、他者へ伝えることのできる力）つまり、討議する技術は必須のものと言えるだろう。本科目では、ディベートのルールや技術、コツ等を学び実践を積むことで、討議する技術を鍛えることをねらいとする。								
目的・目標	目的；物事を論理的に考え、他者と討議する力を身につける。 目標；1. ディベートのルールや技術を理解することができる 2. ディベートのルールに則って、論理的に考え表現することができる 3. 討議する技術（変化を読みとり、理解、把握し、他者へ伝えることのできる力）を身につけることができる								
授業計画	1回（45分×2） ディベートとは何か 2回（45分×2） ディベートの基礎知識 3回（45分×2） ディベートの実際を観る 4回（45分×2） 即興ディベート 5回（45分×2） シナリオディベート 6回（45分×2） テーマの決定 7回（45分×2） 情報収集 8回（45分×2） リンクマップ 9回（45分×2） 立論の作成 10回（45分×2） 社会の中のディベート（裁判官講義）① 11回（45分×2） 社会の中のディベート（裁判官講義）② 12回（45分×2） ジャッジの仕方 13回（45分×2） 反駁のポイント 14回（45分×2） ディベート大会① 15回（45分×2） ディベート大会②								
評価方法	● 議論（ディベート）への参加、態度、議論の内容；60% ● 授業中の課題・提出物；25% ● 最終レポート；15%								
教科書	西部直樹 「はじめてのディベート 聴く・話す・考える力」 あさ出版								
参考文献	瀧本哲史 「武器としての決断思考」 星海社新書 福澤一吉 「議論のルール」 NHKブックス 全国教室ディベート連盟（ディベート甲子園）ホームページ								
履修要件									

## シラバス

科目名	心理学	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	1年次前期	担 当 者	小川 亮
学習のねらい	<p>看護の対象は人間であり、様々な側面を持っている。対象の行動から内面の心理を推測し、よりよい看護援助を実践することが大切である。本科目では、心理学の基本的な理論や考え方に関する基礎知識を得ることで心理学的な見方を身につけ、看護の対象となる人間の心理や行動を理解する糸口を見つけることをねらいとする。本科目で学習したことを、対象の理解のためだけでなく、自分の心の状態を理解しコントロールするためにも役立ててほしいと願っている。</p>								
目的・目標	<p>目的；心理学の基本的な考え方を学び、人間の活動と心のつながりを理解する。          目標；1. 心理学の基本的な理論や考え方を理解することができる          2. 人間の様々な活動に心の動きが影響を与えていることを理解できる          3. 自分の心の状態を把握し、日常生活の中でコントロールすることができる</p>								
授業計画	<p>1回 (45分×2) 心理学とは何か          2回 (45分×2) 心理学の歴史①          3回 (45分×2) 心理学の歴史②          4回 (45分×2) 知覚心理学          5回 (45分×2) 学習心理学          6回 (45分×2) 認知心理学          7回 (45分×2) 性格心理学①          8回 (45分×2) 性格心理学②          9回 (45分×2) 社会心理学①          10回 (45分×2) 社会心理学②          11回 (45分×2) 発達心理学①          12回 (45分×2) 発達心理学②          13回 (45分×2) 発達心理学③          14回 (45分×2) 発達心理学④          15回 (45分×2) 試験</p>								
評価方法	筆記試験（100％）により評価する。								
教科書	青木紀久代/神宮英夫 編著；カラー版徹底図解 心理学 新星出版社								
参考文献									
履修要件									

## シラバス

科目名	社会学	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	1 年次前期	担 当 者	永井広克
学習のねらい	社会学は人間と社会の相互関係の中に存在する特定の事象の発生原因や仕組み、意義を考える学問である。本講では、出生から死までの人間の一生を、各段階のライフイベントや社会との交わりを通して考察する。								
目的・目標	目的；出生から死までの人間の一生を、各段階のライフイベントや社会との交わりを通して考察する。 目標；1. 人間を単なる個ではなく、社会との相互関係の中で存在する意義について考察することができる。 2. 人の一生を段階的に学ぶ中で、改めて人間の生や死とは何かを考察することができる。								
授業計画	1 回 (45 分×2) 出生率は何故下がったか 2 回 (45 分×2) リプロダクティブ・ヘルス・ライツ 3 回 (45 分×2) 教育 4 回 (45 分×2) 学校 5 回 (45 分×2) 働く 6 回 (45 分×2) 感情労働 7 回 (45 分×2) 家族 8 回 (45 分×2) ケア 9 回 (45 分×2) 結婚 10 回 (45 分×2) 育児 11 回 (45 分×2) 病気 12 回 (45 分×2) 病人とは 13 回 (45 分×2) 死とは 14 回 (45 分×2) 死の受容 15 回 (45 分×2) 試験								
評価方法	レポート (20%) 及び試験 (80%) により評価する。								
教科書	筒井淳也・前田泰樹、社会学入門 ―社会とのかかわり方、有斐閣								
参考文献	現代社会学事典、弘文堂								
履修要件									

シラバス

科目名	英語	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	1 年次前期	担 当 者	神保 正
学習のねらい	グローバル化に伴い、医療の現場においても英語に触れる機会が年々増えてきている。これまでも英語を学ぶ機会があったであろうが、本講では基本的な英文法や英会話を学びつつ、医療現場を想定した場面での英会話を通して、医療現場で活用可能な英語力を獲得することがねらいである。								
目的・目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療、看護に関連する単語や、フレーズを学び表現を知る</li> <li>2. 外国人が医療機関を利用する場面（外来及び入院など）を想定しての、基本的なコミュニケーションを習得する</li> <li>3. オーラルコミュニケーションでの学びを通して、文法などの知識を復習する</li> </ol>								
授業計画	<p>1 回 (45 分×2) 授業の進め方、自己紹介、教室英語</p> <p>2 回 (45 分×2) 病院受付</p> <p>3 回 (45 分×2) 病院内の案内の仕方</p> <p>4 回 (45 分×2) 新患者へのケア</p> <p>5 回 (45 分×2) 入院患者への情報 可算・不可算名詞 従属接続詞</p> <p>6 回 (45 分×2) 問診の仕方 症状の言い方</p> <p>7 回 (45 分×2) Unit1~6 の復習 中間テスト</p> <p>8 回 (45 分×2) 体の部位の英語名 過去形動詞</p> <p>9 回 (45 分×2) 内臓器官の英語名 現在形と現在進行形の違い</p> <p>10 回 (45 分×2) 諸症状について英語で説明 疑問文と応答文</p> <p>11 回 (45 分×2) 患者さんとの会話 1 頻度の副詞</p> <p>12 回 (45 分×2) 患者さんとの会話 2 未来形</p> <p>13 回 (45 分×2) 患者さんとの会話 3 代名詞</p> <p>14 回 (45 分×2) Unit7~12 の復習 期末テスト (筆記)</p> <p>15 回 (45 分×2) 期末テスト (口頭)</p>								
評価方法	前時の復習テスト (15%) 中間テスト (40%) 期末テスト (40%) 平常点 (5%)								
教科書	Speaking of Nursinig Peter Vincent and Alan Meadows 南雲堂								
参考文献									
履修要件									

シラバス

科目名	健康とスポーツ	単 位	1	時 間 数	15	開 講 時 期	1 年次前期	担 当 者	片貝 仁子
学習のねらい	<p>生活習慣病が問題視される現代において、社会的にも健康日本 21 をはじめとする政策などを通して国民の健康寿命延伸について取り組んでいる。これに伴い、医療現場でも健康教育といった点での教育的知識が必要とされていると言える。</p> <p>本講では、現代に即した健康とスポーツの情報や科学的な身体運動の理論と実践法を学び、かつ実際に身体を動かしながら体験することで、将来健康で豊かな社会を送るための指導、教育スキルを獲得することをねらいとしている。</p>								
目的・目標	<p>目的；将来健康で豊かな社会を送るための指導、教育スキルを獲得する。</p> <p>目標；1. 身体の構造や機能と関連付けて、根拠に基づいたスポーツを実践することができる。</p> <p>2. それぞれのスポーツ・運動がもつ効果や注意点を学び、実践し、健康教育のスキルを獲得することができる。</p>								
授業計画	<p>1 回 (45 分×2) オリエンテーション スタティックストレッチの目的、注意点、効用</p> <p>2 回 (45 分×2) 健康日本 21 第二次について、ダイナミックストレッチの実践</p> <p>3 回 (45 分×2) 健康日本 21 第二次について、ダイナミックストレッチの実践</p> <p>4 回 (45 分×2) 有酸素運動の効用 エアロビックの体験</p> <p>5 回 (45 分×2) 有酸素運動、運動強度について 実技課題演習①</p> <p>6 回 (45 分×2) 生活習慣病、メタボリックシンドロームについて 実技課題演習②</p> <p>7 回 (45 分×2) ロコモティブシンドロームについて 筆記試験 実技課題演習③</p> <p>8 回 (45 分) チームエアロビック発表会 (実技試験)</p> <p>※実技の時間には運動に適した服装で参加する 体調等に問題がある場合には相談すること</p>								
評価方法	筆記試験 (50%) および実技試験 (50%)								
教科書	必要時資料を配布する。								
参考文献									
履修要件									